

卒業生の進路

- ・「自らの努力で進路をつかみとる力」を養い、「第一志望校、現役合格」を実現します。
- ・2025年度からの、学習指導要領改訂に伴う大学入試改革（現在の4年生から）に対しては、すでに万全の対策を講じています。

最近3年間の卒業生進路別実人数 (現役生のみ)

区分	期	11期生	12期生	13期生
大 学	国公立	65	54	45
	私 立	43	61	61
準大学等		3	0	4
就職		0	0	0
進学努力継続		11	4	6
合計(卒業生数)		122	119	116
現役進学率(%)		91.0	96.6	94.8

13期生現役大学進学者の 試験区分別実人数

	国公立大	私立大	合 計
学校推薦	4	6	10
総合選抜	2	1	3
一 般	39	54	93
合 計	45	61	106

・「学校推薦」「総合選抜」はそれぞれ、これまでの「推薦入試」「AO入試」にあたります。

最近5年間の大学別入学者数 (現役生、過年度卒業生合計の実人数)

47名 群馬大	34名 東北大
36名 早稲田大	18名 明治大
21名 慶應義塾大	12名 千葉大
14名 京都大	
11名 東京大	

《女子大》
5名 群馬県立女子大 5名 お茶の水女子大

《医学部医学科》
44名(国公立大36名、私立大7名、防衛医大1名)

・国公立大は入学者10名以上(ただし女子大は5名以上)、私立大は15名以上の入学をすべて記載。

- ・本校最初の卒業生が1期生、令和4年3月卒業生は13期生
- ・準大学等…文部科学省所管外の大学校、短大、専修学校、海外の大学等を含む
- ・現役進学率…(卒業生数－進学努力継続)／卒業生数×100

コロナ禍でもできることはある！～工夫して実践した行事～



中央中等生のランチタイムは… ～在校生の声を聞いてみよう⑤～

本校では毎日のランチを3つの選択肢の中から選ぶことができます。自宅から持参したお弁当、カフェテリアのランチ、購入できるパンです。カフェテリアには様々な、安くて、美味しいメニューがあります。目の前で作ってくれるため、いつでも出来立てです。また、新メニューも楽しみです。忙しい人は、予約をしてお弁当として受け取ることもできます。パン購入も人気があり、すぐに行列ができてしまうほどです。どれも美味しいので、皆さんの推しパンも見つけてみてください。お昼を楽しみましょう！(高崎市立矢中小学校出身 A.O.)

受け継ぎ、創造するもの ～在校生の声を聞いてみよう⑥～

中央中等は、前身の中央高校から校歌やフロンティアスピリットを受け継いでいます。先輩方のときから、時代や環境、校舎は変わりつつありますが、中央スピリットへの「思い」はこれからも変わらずに持ち続けていきたいと思っています。その一方、変化が求められる場面では、本校で培った力を発揮し、様々な視点から新しいアイデアを創造していきたいと思っています。そして、ワールドシチズンとして世界を舞台に活躍できるようにしたいと思っています。私たちは中央のこれまでの「轍」を大切に、常に前を向いて日々努力を重ねていきます。(高崎市立中居小学校出身 T.T.)

2022年5月発行



群馬県立中央中等教育学校 School Guide 2022

Gunma Prefectural Chuo Secondary School

校章は校名と
大地(緑)、空(青)、太陽(赤)
を表現しています。

〒370-0003 高崎市新保田中町 184

TEL (027) 370-6663 FAX (027) 370-4910

■Webページもごらんください URL <https://chuo-ss.gsn.ed.jp> ■E-mailでのお問い合わせはこちら chuo-ss@edu-g.gsn.ed.jp

中央中等の規律ある充実した学校生活が、
生徒の夢をかなえます

Gunma Prefectural
Secondary School
huo

コロナ禍の今だからこそ“Frontier Spirit”を



**群馬県立
中央中等教育学校**

School Guide 2022

教育目標

- 豊かな人間性と創造力の育成
- 国際的なコミュニケーション能力の育成
- 日本や世界の文化、伝統に対する深い理解

目指す生徒像

World Citizen

地球市民としての日本人です。

中央中等の
1日

特色ある教科・科目で生徒の個性を伸ばします。

朝の時間

■読書の習慣を付けるとともに、落ち着いた雰囲気ではじめの授業をむかえます。

授業

■英語、数学（後期課程）は少人数でよりきめ細かく指導します。
■すべての教科で学び合い活動やディスカッションをはじめとした協働的学習を行い、真の学力獲得を目指します。

特色ある
科目

■FEWC（フューク：総合的な学習／探究の時間）では、身近な地域・群馬・日本・世界を題材にして、各自が興味関心のあるテーマについて研究します。また、模擬国連やイノベーション学習などを通じて、グローバルに活躍できる資質・能力の育成を目指します。

英語を使える人に

～「わかる」から「できる」に、「できる」から「使える」に～

本場の英語に慣れ親しみ、英語に自信をもてるようなカリキュラムが設定されています。入学当初から少人数の授業が展開され、4人の外国人の先生が様々な場面で授業にかかわります。スピーチ発表をしたり、英会話をしたりするなどの表現活動が充実しているだけでなく、後期課程では英語で論文を書くことに挑戦します。英語を学習するには最適の環境です。



中央中等の授業は… ～在校生の声を聞いてみよう①～

本校の授業は、1限55分で、他の中学校よりも長く、1限の中でより深く学ぶことができるのが特長です。また、ペアやグループでの話し合いを多く取り入れ、生徒が主体的に勉強に取り組んでいます。数学や英語では少人数での授業形態を取り入れていて、より質の高い授業を受けることができます。（前橋市立桂萱東小学校出身 Y. A）

中央中等の
1年

多彩な学校行事で生徒の人的成長を促します。

主な学校行事（令和4年度）

学年始休業 4/1～4/6

4月 始業式、入学式
校内巡検（1年）
面談週間

5月 生徒総会
1学期中間考査
少年の主張大会（1～3年）

6月 朋友祭（文化祭）
1学期期末考査

7月 英語スピーチコンテスト（1～3年）
三者面談（4～6年）
FEWC課題研究発表会

夏季休業 7/21～8/26

8月 9月 FEWCジュネーブ国連研修（3・4年）
インターンシップ（3・4年）
三者面談（1～3年）
FEWC課題研究中間発表会
グローバルウィーク
三者面談（1～3年）
英語スピーチコンテスト（4～5年）

2学期中間考査
10月 開校記念講演会
修学旅行（5年）
修学旅行（3年）
修学旅行（4年）（本年度のみ）
オープンスクール
イングリッシュ・キャンプ（1・2年）

11月 芸術鑑賞教室
合唱コンクール（1～3年）
大学模擬講義（5年）
2学期期末考査

12月 三者面談（6年）

冬季休業 12/24～1/5

1月 百人一首大会（1～3年）

2月 FEWC各種発表会
学年末考査

3月 卒業証書授与式
海外語学研修（4・5年）
研究機関訪問（2・3年）
FEWC課題研究全校成果発表会
卒業生進路サポート（3～5年）
前期修了式（3年）
終業式

学年末休業 3/25～3/31

FEWCで世界へ翔け!

FEWC「フューク」は地球市民を育てるための本校独自の教育プログラムです。

Frontier Education for World Citizenship (FEWC)

課題探究的思考力・ディープアクティブラーニングの充実

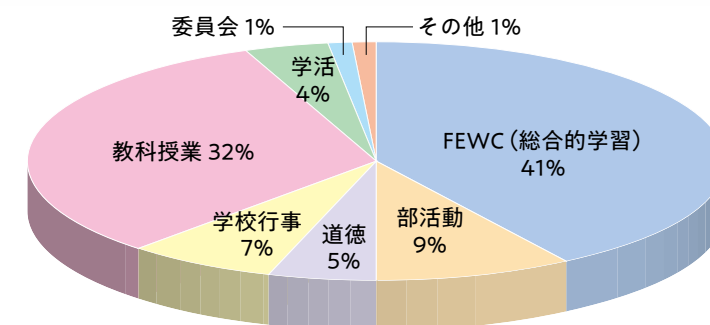
「FEWCグローバル人材育成ルーブリック（S、A、B、Cの4段階で自己評価）」による自己評価結果より

○S、A評価を付けた根拠となった活動は？（前期生徒）



英語検定保持級調査結果より(R3)

	1級	準1級	2級	準2級
4～6年	3	74	153	72



中央中等の
6年

基礎・充実・発展の3つの学習ステージで進路希望を実現します。

基礎期	充実期	発展期
特色ある教育		
■全教科の基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身に付けます。 ■基礎的なコミュニケーション能力を日本語中心に身に付けます。 ■家庭における学びの充実を図り、きちんとした学習習慣を身に付けます。	■基礎的・基本的な知識、技能を活用する能力を身に付けます。 ■実践的なコミュニケーション能力を日本語・英語で身に付けます。	■知識、技能を活用して、積極的に探究する能力を身に付けます。 ■英語による国際コミュニケーション能力を身に付けます。 ■文系、理系に分かれて、生徒の進路希望に応じた学習を行います。
進路学習		
■「主体的・対話的で深い学び」によって自己を理解し、協働学習によって自己有用感を向上します。	■探究的な諸活動を通じて、自分自身が将来その解決に取り組みたいと考える社会的課題を設定します。	■課題解決に向けて、蓄積した学力を得点力に、さらに合格力に転化させ、第1志望校への現役合格を実現します。
1年	2年	3年
4年	5年	6年

FEWCプログラムって何？ ～在校生の声を聞いてみよう②～

FEWCプログラムは、体験活動や深い学び、本格的な課題研究ができる、World Citizenの育成を目的とした活動です。課題研究は、自分の興味と社会の課題を関連付けて、自分自身でまだ答えが明らかになっていない「問い」を立てるところから始めます。仲間と互いにアドバイスを交わしながら研究を進め、年度末にはそれぞれが考察して導いた「答え」を発表します。先人の研究や自分で手に入れた事実を分析して発表する活動に取り組んでいくと、ICTや資料の活用方法、相手を納得させる論理の構築等ができるようになります。1年生では身近な地域の課題を解決することでSDGsの達成を目指し、進級する毎に、群馬、日本、世界と視野を広げていき、5年生では自分の「答え」を世界へ発信します。中央中等生はこの活動で、仲間から適度な刺激を受けながら、それぞれのWorld Citizenに求められる資質・能力を高めています。（伊勢崎市立赤堀小学校出身 R. K）

中央中等の学校行事は… ～在校生の声を聞いてみよう③～

毎年6月に体育祭と文化祭（朋友祭）を隔年で行っています。昨年はコロナ対策のため2つを融合させて「紫陽祭」という行事を行いました。普段は発表会、部活動や委員会活動以外では関わりの少ない前期生と後期生が、この行事で深く交流でき、クラスの団結力だけでなく、学校全体の団結力を高める良い機会となりました。当日が楽しいのはもちろん、準備時間もとても充実しており、周囲とのコミュニケーションや協力等、人として社会に出て大切なことも学ぶことができます。（前橋市立天川小学校出身 T. A）

部活動

運動部

・野球部・卓球部・陸上部・サッカー部
・バレーボール部・バスケットボール部
・バドミントン部・テニス部

学芸部

・管弦楽部・科学部・文化部・美術部

部活動では… ～在校生の声を聞いてみよう④～

本校には管弦楽部や陸上部を始めとして様々な部活動があります。1学年120人の学校としては、部活動の数はとても多いと思います。部活動に入ることで前後期に関わらず、多くの先輩・後輩と交流することができます。私自身、たくさんの先輩方と活動していくことにより周囲への気配りや先を見据えた行動などができるようになりました。普段の生活や授業では身につけられないことを部活動を通して学ぶことができます。間違いなく素敵な友達や先輩方と出会えると思います！ぜひ部活動に入ってみてください！（渋川市立豊秋小学校出身 A. S）